

# キッズみんなの日記

4月号

キッズ生のみなさん、ご入学、ご進級、おめでとうございます。いよいよ、学校でも新学年としての一年がスタートします。この一ヶ月間、新学年に向けて着々と準備を進めてきたのですから、自信をもって進級できますね。新しいクラス、友達、先生、新品の教科書。一年生はピカピカのランドセル。考えただけでワクワクしますね。

先月は、別れの季節ということ、卒業式や六年生を送る会などを題材にした日記が多く見られました。優秀作品に選ばれた日記では、「理由+感情」を上手く表現しています。是非参考にしてください。

## 優秀作品介绍

### ★初級者(一・二年生)の部★

六年生をおくるかい  
きょう、いよいよ六年生をおくるかいです。  
やる前にお友だちが、  
「どきどきするね。」  
と、言ったので私が、  
「うん。どきどきするね。」  
と、言いました。「ばん心にのこったのは、先生たちがうたった「大せつなもの」です。とてもきれいなうたごえでした。わたしたち一年は、さるかにをやりました。わたしは、かたやくです。とてもうまくおどれたのでうれしかったです。

プレゼントこうかんのとき、一年生は、六年生のがおえをあげます。六年生からは、六年生がいっしょうけんめい手づくりでぬったぞうきんです。もらったときはうれしかったです。  
ちよつとさびしいけど、中学校に行っても、ぶかつもべんきょうもがんばってほしいです。  
(新小二・WMさん)



「きれいな歌声」だったから「心に残った」、「一生懸命だった雑巾」だったから「もらってうれしかった」など、「理由」+「感情」の形をしっかりと使い、気持ちを上手に表現していますね。真似したいテクニックです。新二年生とは思えない完成度です。お見事!

### ★★中級者(三・四年生)の部★★

きゅうしよく

きょうは、きゅうしよくでおせきはんが出ました。わたしは、おせきはんがきらいなのでいやだなと思いましたが、でも、おせきはんもがんばって食へました。わたしは、おせきはんのまめがきらいです。なんで、ほかのまめは食へられるのに、おせきはんのまめは食へられないんだろうと思えました。まめの中のつぶつぶがきらいなんです。大人になつたら、すききらいなく、なんでも食へたいです。  
(新小三・BMさん)

給食の「お赤飯」に上手に的を絞って書けましたね。嫌いな物を題材にしたところもユニークです。また、そこから、疑問を抱き未来の自分はこうありたいという希望へと話題を広げているところが素晴らしいですね。

タイヤがパンクした

前から自転車のタイヤがパンクしていたので、今日直しに行きました。直しに行ったところは、家から近いピンクペダルというお店です。お店のおじさんは、まずさいしよに、黒いチューブを出して、水の中に入れてどこにあながあいているのか調べていました。次に、あなの開いているところをけずってせつちやくさいをつけ、最後に黒いシールをはっていました。チューブをもとどおりにして空気を入れました。「ありがとうございます。」  
と言ってお店を出てのつてみたら、もともどつたから気持ちよかったです。(新小四・TR君)



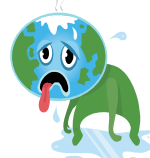
自転車店のおじさんの作業をじっくりと観察し、その様子を順序よく、詳細に書き上げていますね。読み手もその場に居て作業の様子を見ているような錯覚さえ覚えます。最後の一文から、R君が、すっきりとした笑顔で自転車をこいでいたことを思わせ、さわやかな文章に仕上がりました。



### ★★★上級者(五・六年生)の部★★★

詩を作った  
三月十日に詩を作った。その日に、クラスのみんなと先生に言いました。その詩を作った次の日にお母さんに言いました。

その詩は、  
「今の地球  
熱かるうな  
にさんかたんそ  
昔の地球  
こわかるうな  
未来を知ったら」  
という詩でした。これからも作りたいたです。  
(新小六・YH君)



地球の温暖化について、擬人法や倒置法、対句など様々な技法を使って素敵な詩が書けましたね。出来事だけにこだわらず、自分の思いを「詩」で表現し、それを日記に書き留めておくという日記の新しいスタイルを紹介してくれました! 賛沢を言えば、クラスのみんなや、お母さんの反応も書き加えると完璧でした。

## 伊藤先生のおすすめ本

### ★初級者★

ある家にすむ母さんねずみと子ねずみたちは、人に気づかれないよう静かに暮らしていました。ところが末の子ねずみやカちゃんの声の大きいこと!

番ねずみやカちゃん 福音館書店  
リチャード・ウィルバ - 作  
松岡享子 訳



### ★★中級者★★

竜になって北の湖にすむという母を訪ねる竜の子太郎の苦難の旅の物語。松谷みよ子の代表的傑作

龍の子太郎 講談社  
松谷みよ子 作



### ★★★★上級者★★★★

100年前の北米の森と草原を舞台に、少女ローラとその一家の開拓生活を描いた大河物語

大きな森の小さな家 福音館書店  
ローラ・インガルス・ウィルバ - 作  
恩地三保子 訳 / ガース・ウィリアム 画



※大好評の『伊藤先生のおすすめ本』は、梨ゼミ文庫として少しずつ買そろえ、貸し出ししています。借りたい人は鴨川先生まで気軽に声をかけてくださいね!

「キッズみんなの日記」に関する「意見・感想は梨香台  
ゼミナール宛、または、市澤宛に」といってお寄せください。  
info@rikohdai.com shoko@rikohdai.com